

ふじみ野市ヤングケアラー周知啓発アニメーション動画制作事業

○ふじみ野市との意見交換からスタートした動画制作

2026年3月9日（月）に本学にてキックオフを実施しました。

当日は、学生が制作した動画の草案を提示し、キャラクターの設定や録音する音声、動画全体の内容・方向性について、ふじみ野市こども家庭センターの皆様と意見を交わしました。

「どのように表現すれば観る人に気づきを与え、身近な問題として考えてもらえるか」という問いを常に意識し、具体的な制作へと進んでいきました。

その後も学生が主体となり、動画の内容や表現方法について試行錯誤を繰り返しました。



○中間報告を通して、完成に向けた最終調整へ

2026年7月27日（月）にふじみ野市総合センターフクトピアにて経過報告会を実施しました。

当日は、ふじみ野市こども家庭センターの職員の皆様をはじめ、川越市教育委員会の先生にもご出席いただき、完成を目前に控えた動画の内容や、これまでの制作過程について発表しました。

発表後には、ふじみ野市の皆様より、動画を通して伝えたいメッセージや、より良い啓発につなげるための方向性についてご意見をいただきました。

納品まで残された期間が限られる中、学生たちはいただいたご意見や要望を一つひとつ確認し、表現や内容について再検討を重ねました。

その後、ふじみ野市の皆様が考える方向性を共有いただきながら、大学と市がともに最終調整を行い、ついに完成を迎えました。



○ふじみ野市長へ完成した動画を報告

2026年8月27日（木）にふじみ野市役所を訪問し、ふじみ野市長にもご出席いただき、完成した啓発動画の制作発表会を実施しました。

発表の際には、これまでの取り組みの経緯に加え、制作に携わった学生から、動画制作において工夫した点や、ヤングケアラーというテーマと向き合う中で考えたこと等を発表しました。

学生による発表後、市長より完成した動画の内容および学生たちの主体的な取り組みに対し、大変貴重なご講評とご意見を頂戴しました。



今回の動画制作を通じて、学生たちは映像表現の技術を磨くだけでなく、地域が抱える課題について深く考え、その課題をより多くの人に知ってもらうために、どのように伝えるかを考える貴重な機会となりました。また、地域との連携を通じて、社会課題への理解を深めるとともに、情報を発信することの難しさや重要性を学ぶ機会にもなりました。

ふじみ野市の皆様との打ち合わせや発表、意見交換を重ねる中で、学生自身が考えた表現を形にしながら、相手の意見を受け止め、より良いものへと改善していく経験にもつながりました。

本学とふじみ野市は、連携協力に関する包括協定を締結しています。

今回の取り組みは、地域と大学、そして学生がそれぞれの立場から力を合わせ、一つの成果物を作り上げた連携事業となりました。

本学では今後も、地域との連携を通じて学生の学びを深めるとともに、学生の創造力や専門性を生かした地域貢献に取り組んでまいります。

尚美学園大学
総務課地域連携室